

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症も5類への変更に向かって政府の対応が始まり、会食機会も増えてきている。会社単位の宴会はまだ少ないものの、子供や孫のお祝い、記念日の集まり等の予約も戻ってきている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・全国旅行支援が延長となり、旅行に対する機運が高い状況が続いており、前年と比べて来客数が増加している。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月の葬儀はそれぞれ3分の1ずつ病院、警察、自宅での死亡となっている。新型コロナウイルス感染症発生前に、家族葬が少しずつ増えてきていたので、話を聞きに来たという客が増えていると報告をしていたが、新型コロナウイルス感染症がなくても、いずれこういう時代が来ると思っていたところ、コロナ禍で拍車が掛かっている。もうこの流れは止まらない。
	○	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・個人利用は全国旅行支援等により、数か月間、変わらずに伸長しているなかで、団体や法人利用も伸び始め、数か月前よりは確実に利用人数が増加傾向にある。100名を超す利用も出始め、感染症対策を行った上で、宴会を利用し、多くの客が談笑し、お酌し合う光景が多くなってきている。少しずつではあるが、新型コロナウイルス感染症の発生前の状態や売上に戻りつつある。
	○	通信会社（社員）	販売量の動き	・緩やかではあるものの、契約数が回復傾向にある。主要因は不明だが、昨今の値上げラッシュの余波で、コスト意識が高まる風潮ではある。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・水際対策が緩和され、外国人観光客やスキー客が増加している。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・12月はボーナスの支給があり、その後の正月ということ、例年のように正月の買物があるかと思っていれば、今年は本当に静かな正月で、何だか正月が来たという感じがしない。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・年末の反動なのか、あるいは正月休みが短かったせい、年始以降は観光客を中心に、人の動きが静かになってしまっている。
	□	一般小売店 [薬]（経営者）	来客数の動き	・特別大きな動きはないが、当店のすぐそばにある大きな百貨店が、2月に閉店するので、今後、厳しい状況が出てくるのではないかと。現状は影響がない。
	□	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・物価高の状況が現在も続いていて、これから先、更に値上げになるので、より慎重になっている。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・年末年始の帰省客増加がプラスに作用している。価格上昇も日常化し、節約モードが加速している感はなく、おいしい物や珍しい商材には反応がある。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・毎年、この時期は降雪したり、道路が凍ったりするので、客の動きがやや悪いのは変わらない。積雪量が少ないことは、歓迎している。
	□	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・3か月前は、修理部門で多少は人の出入りがあったものの、現状は、まるで動きがない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・寒波の影響もあり、来客数が減少している。
	□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新型車効果もあり、新車受注は堅調だが、生産供給がいまだに滞っているため、納車や売上は伸び悩んでいる。
□	乗用車販売店 (経営者)	単価の動き	・若干ではあるが、新車の納期が改善され、客との商談も具体的にできるようになっている。ただし、一般整備や板金等に必要自動車部品が値上がりしており、客の希望にこたえるために工賃を安くして若干利益が下がるケースも出てきている。	
□	自動車備品販売 店（従業員）	お客様の様子	・来客数は前年を下回ったまま、物価高の影響で生活必需品も高騰しているため、節約傾向が強くなっている。	

□	その他専門店 [酒] (店長)	お客様の様子	・以前に考えていたよりは良くなっているが、それほど変わっていない。物価高も重なり、大都市ではかなり動き出しているという話は聞いているが、地方では、大きな波で良くなることもあるが、厳しいと全く客が来ないという飲食店もあると聞く。まだしばらくは時間が掛かるという認識である。
□	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・若干感触は良いものの、足踏み状態である。
□	スナック (経営者)	来客数の動き	・変わらないと回答したが、悪いまま変わらないという意味である。来客数の動きは、この寒さもあるか分からないが、本当に良くない。新型コロナウイルス感染症は本当にどうなっていくのか。何か良い答えがあったら教えてほしい。
□	タクシー運転手	販売量の動き	・前年11月までは順調に前年比を超えていたが、12月と今月中旬までは伸び悩んでいた。下旬に入った辺りから回復してきて、どうやら今月は前年比108%くらいで終わりそうである。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は高止まりしているが、個人や少人数、ファミリーでの利用は増加傾向である。しかし、団体や法人利用はいまだに伸び悩んでいる。
▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・正月も年明けの明るい雰囲気は全くない。寒波と同様に冷え込みが大きい。
▲	一般小売店 [家電] (経営者)	お客様の様子	・寒波による修理関係は増えてはいるものの、商材の動きは鈍い。これといった新商品が出ることもなく、出回る物のほとんどが値上げをうたっているなかでは、消費よりも買い控えとなる様子がうかがえる。
▲	百貨店 (経理担当)	お客様の様子	・寒波と物価上昇の影響が、個人消費に影響を及ぼしていると思われる。
▲	スーパー (経営者)	お客様の様子	・1月30日時点で、前年比売上は1%増、来客数に増減はない。近隣にコンビニが出店したため、今後は来客数が更に減ると思っている。コンビニの出店前から、売上は良くない。春には新型コロナウイルス感染症もインフルエンザ並みの5類扱いになるので、経済に活気が出てこない、本当に資金繰りに困る。
▲	コンビニ (経営者)	単価の動き	・単価の安い商材を購入する客が増えてきて、客単価が低くなっている。
▲	コンビニ (店長)	来客数の動き	・全体的に来客数が落ちてきている。以前はここまで全体で落ちることはなく、一部では来客数が戻っているという状態だったが、今月は部分的な動きもなくなっているような気がする。
▲	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車の納期に大きな改善は感じられない。
▲	スナック (経営者)	来客数の動き	・秋から12月までは上向いていたものの、1月に入って急に悪くなっている。電気代もガス代も信じられないくらいに上がってしまい、コロナ禍が始まってすぐに貸してもらった緊急対策融資の返済も、きつくなっている。もう、あと半年、持たないかもしれない。
▲	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・1月のこの大雪で、期待していた新年会等の会合のキャンセルが相次いで、売上全体の5%ほどがキャンセルとなっている。宿泊も3か月前と比べて、全国旅行支援の勢いはない。1月はやはり、新型コロナウイルス感染症というよりも、降雪が大きく影響している。
▲	旅行代理店 (副支店長)	お客様の様子	・3か月前との比較では、全国旅行支援の影響で需要回復がみられるものの、同時進行で、不安定な世界情勢による物価上昇と為替変動があり、ここにきて需要が縮小傾向である。
▲	ゴルフ場 (経営者)	お客様の様子	・値上げの影響が出てきて参っている。金融緩和が継続されていることが救いである。
▲	その他サービス [貸切バス] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が再び感染拡大し始めたため、旅行を控える人が増えている。

	×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年秋は全国旅行支援第1期と行楽シーズンが重なり、連日忙しかったが、第1期終了後は客が少ない。新型コロナウイルス感染症発生前の例年1月には、官公庁や各種団体、自治会等の新年会需要があったが、いまだに新年会は動きがない。その分個人客に期待したいが、道路が凍結するこの時期は、主要な販売先である関東方面から当地へ、なかなか来てもらえない。こうしたなか、インバウンド客の動きはあるものの、まだ人数が少なく、動きは限定的である。全国旅行支援第2期が始まったが、OTAも宿泊施設も利用可能枠が少なくなっており、大手旅行通販サイトのような取扱量の多いところの枠がすぐに終わってしまうため、動きが今一つ良くない。
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・降雪によるクローズが多く、売上は減少している。経費削減も限度で、食材等の仕入れをコントロールし、従業員の出勤調整を行っている。
企業 動向 関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増え始めており、人材確保を検討し対応している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ワークショップ予約はやや上向いているが、製品受注は低迷している。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一時的ではあるが、部品納入待ちが解消されて生産は進んでいる。ただし、この先の部品納入にはめどが立っていないため、再び生産調整の懸念もある。
	▲	食料品製造業（製造担当）	競争相手の様子	・同業者が今月で廃業を決めた。事業を続けていても利益は出ず、機械のメンテナンスに修理費がかさみ、もはや継続は厳しいと判断したようである。
	▲	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・年末までの国産ポジョレーヌーヴォーの引き合いが多かった反動で、今月は飲食店からの需要が思ったほど伸びず、販売量は例年より減少している。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年初に都内で宝石に関する大型展示会が開催された。国内に住む外国人バイヤーが多く集まり、SNSで国内や本国のフォロワーに販売する姿が多く見られた。海外からのバイヤーの来日はまだ少ない。円安が一段落しているとはいえ、前年の地金やダイヤモンド等の材料費高騰による製品価格上昇から、厳しい値段交渉が多かった。国内の各店舗や問屋については、高額品を購入する一部顧客に支えられ、売上は確保しているものの、店頭への誘客、販売はいまだ回復しておらず、通常の店頭販売に関しては相変わらず苦戦している。
	▲	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・物価上昇は高止まり傾向であるが、今回の大雪で、活動がストップ状態である。
	▲	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で業況感の改善が遅れていた観光関連業は、全国旅行支援により持ち直し、非製造業全体も改善している。一方、製造業では海外経済の悪化により、IT関連で受注が弱含んでいるほか、原材料価格の高止まりで価格転嫁が思うように進まない企業も多く、業況感が大きく悪化している。
	▲	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・ロシアのウクライナ侵攻を発端とした不安定な世界情勢による物価高の影響が、企業の調達コストにも影響を与えている。大手企業のように製品や商材価格を操作することは、中小企業では難しいのが現状である。
	▲	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	それ以外	・当社は12月決算のため、1月から新年度になっている。前年決算は良かったものの、今期は多くの物価上昇により、一般家庭はもちろん、取引企業も経費節約志向が高まっているため、やや悪くなっている。
雇用 関連	×	*	*	*
	◎	—	—	—
	○	—	—	—
(甲信越)	□	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求職条件のハードルが変わってきている。皆、慎重になっており、決めかねている方が多い。

□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・直近の有効求人倍率は改善傾向がみえるものの、有効求人数は横ばいで推移している。有効求職者数の減少が要因となっている。
□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人は職種によってばらつきが大きいものの、総合的には現状維持が続いている。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染第8波に入り、宴会自粛などの影響で、飲食業やホテルの求人が減少している。また、原材料不足や様々な価格の高騰、円安等の影響により、製造業でも求人が手控えられているようである。
×	—	—	—